



社協那加一

編集・発行
各務原市社会福祉協議会
那 加 一 支 部
支部だより編集委員会



那加第一小学校児童の福祉体験発表

那加第一小学校では様々な福祉体験学習を行っています。
ここでは、子どもたちの感想をいくつか紹介します。

平成22年6月1日に、4年生の児童が車いす体験をしました。実際に車いすに触れて学習しました。子どもたちの感想文の一部を紹介します。

4の1 坂井菜々子

車いす体験から知っている人の気持ちや、おす側のくふうについて調べよう。

車いすをおすのはおむつや坂道もあつたのでとてもたいへんでした。とくに、だんざがあるときがいちばん力がいりました。わたしは車いすに乗ったとき車いすをおしてもらったので、わたしはこわかったです。車いすに乗ると、おす側のくふうについて調べよう。

車いす体験から知っている人の気持ちや、おす側のくふうについて調べよう。

車いすをおすのはおむつや坂道もあつたのでとてもたいへんでした。とくに、だんざがあるときがいちばん力がいりました。わたしは車いすに乗ったとき車いすをおしてもらったので、わたしはこわかったです。車いすに乗ると、おす側のくふうについて調べよう。



平成22年度 事業報告

年月日	活 動 内 容
22年 4月23日	第1回支部長・福祉推進委員会議(3名)
4月24日	第1回支部社協理事会
5月 9日	第1回支部社協総会
6月 3日	高齢者健康づくり教室の開催
6月 11日	那加第一小車いす体験学習会(4年生)福祉体験文の作成
7月16日	市自治会連合会長・社協支部長合同会議
7月18日	福祉懇談会の開催
8月	支えあいサポーター塾参加 支部社協委員の募集、年会費の徴収
9月12日	市福祉フェスティバル参加
10月22日	お年寄りを囲む会の開催(80才以上、65才以上独居) 那加保育所園児・那加一小児童参加
10月24日	三世代ふれあいワクリテー大会への支援
11月 2日	県社会福祉大会参加(3名)
11月25日	市社会福祉大会への参加
11月27日	シニアグラウンドゴルフ大会支援
12月 9日	友愛訪問 寝たきり老人及び90歳以上の高齢者福祉座談会の開催
23年 1月29日	福祉座談会の開催
2月 4日	第2回支部長・福祉推進委員会議(3名)
3月11日	第2回支部社協理事会
3月15日	支部だより発行全戸配布
3月22日	第2回支部社協総会

ボランタリー・NPO等開設(4カ所)

- ①夢が丘ふれあいセンター(毎月第2・4日曜日)
- ②西市場町いきいきサロン(毎月第3水曜日)
- ③長塚ふれあいサロン(毎月1回)
- ④浜友会 浜見1・浜見2(毎月第2火曜日)

福祉はちいさな「和」から

那加第一支部社協 支部長の牧田 憲
1年間、皆様のご協力により支部社協事業を展開でき、心からお礼申し上げます。
現代社会は、物質的には豊かになったものの、心の中は、「落ち着かない社会」であるように感じます。時代は日々変化していますが、一人になった時や困った時に声をだして、お互いに助けあえる地域のつながりが今、必要です。日常の暮らしで地域と関わりを持つとそれぞれが勇気を出して「和」の心で考えてもらえば地域はもっと良くなっていくのではないのでしょうか。
「ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり」の市社協基本構想のもと、支部社協活動をおして相手を理解し、仲間を作っていくことが大きな支えになり、住んでよかったと思える地域になることを願っています。

地域を見守る 民生委員・児童委員さんを紹介します

(12月改選) *夢が丘については、空席です。

氏 名	担 当 地 区
今 尾 匠	新加納第1、新加納第2
嘉久見得祐	新加納第3、新加納第4
杉 山 康 彦	雇用促進住宅、金属団地共同宿舍、新加納第5
橋 本 光 宗	浜見町第1、浜見町第2
浅 野 紀 生	新田町(1、2、4班)
浅野千賀子	新田町(3、5、6、7班)
浅野靖博	長塚町、那加の台
尾関久子	山後町
平 光 恵 子	岩地町
坪内厚生	桐野町
岩田のり子	西市場町、サニーハイツ
坂井みゆき	前野町(1、2丁目)
津田好敏	前野町(3、4丁目)
大橋和子	野畑町

那加一支部の活動報告

6/3 健康づくり 体操教室



ボールを使った健康体操
「若者には、まだ負けないよ。」



7/18 近隣ケアグループ員による 福祉懇談会



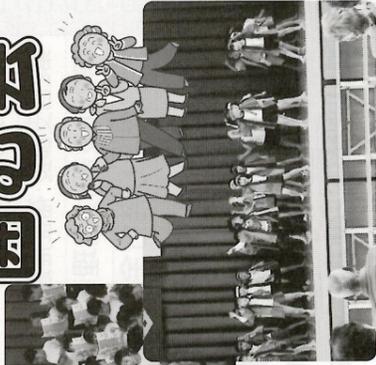
地域で困っていることを
考えました
「介護する立場になったら、
できるかなあ、大変だ。」



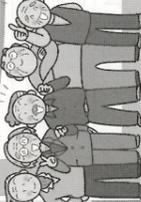
10/22 お年寄りを 囲む会



とよりの保育園児との
交流会「おじいちゃん、
肩たたきよかったよ」



那加一小の一年生の
皆さんのかわいい歌声に
心が和みました。



きょうとう先生が、たくさん声をかけることは心を使うことと言ったのでわたしは、これからは、車いすに乗っている人に出会ったら、役に立てるものに何か手伝いたいと思います。そして手伝つとき声をたくさんかけたいです。

学習から考えたこと

車いすをおすがわは、たくさん声をかけて心と心をつなぐことがわかりました。

4の2 杉山真由

車いす体験を通して乗っている人の気持ちやおすがわの人の工夫を見つけよう。

車いす体験をして、乗っている人の気持ちは、これからどんな動きをするのか、これからどんな動きをするのかなあというところで心配でした。そして、急に車いすが、だんぞがあつて急にあがる時は、びっくりした



た。今日、車いすをおして、他の人をおす時、思ったこと、気をつけたことをいかにしておしてあげたいと思いました。みぞくちさんとついで、車いすは、足がわりということを知りました。みぞくちさんが、持っていたまかいもはじめて見ました。あのようなまかいは、どこでも役立つところも

り、こわくなつたりしました。車いす体験をして、車いすに乗っている人をおす時に、今日、けいけんしたことをいかしたいと思ひました。

おしている人は、乗っている人を、こわがらせないよつに、乗つた時に思った事をいかにしておしました。おす人は、ブリーキのことなど色々な注意や気をつけることがいっぱいあるので、そこに気をつけたりしまし

学習から考えたこと

わたしは、車いすに乗っている人がとつてもたいいんなことがわかつたし、他に車いすなどに乗っている人は、もつと、たいいんなことはないかなあと思ひました。

4の3 山本成美

わたしは、車いす体験をしておしている人や、のつている人の気持ちがわかりました。まずおしている人の気持ちは、のぼり坂やくだり坂では、けつこう力があるから、たいいんだと思います。あとおしている人は、ちゃんと声をかけてあげないのつている人が、びっくりしてしまつたら、ちゃんと声をかけてあげないといふことがわかりました。次にのつている人の気持ちは声をかけてもらわないでこれからどうなるのかとかが、わからなくて心配でたまらないことがわかりました。あとわたしが、

いい道具(まかい)だと思ひました。

わたしは、今日あつた車いす体験を色々な時にいかしていきたいし知らない人などが、不自由で車いすなどに、乗っている人などに自分のできることをやりたいと思ひました。



のつているときはつろがきになつて、しょうがなかつたし車いすに、のつているとおちつけなかつたです。わたしは、おしている人ものつている人もすごくたいいんだけれんはつていることがわかりました。もしどこかで車いすの人がこまつていたら、少しでも声をかけたいいなあと思ひました。

学習から考えたこと

車いすにのつている人は自分だけじゃなく人の協力もあつて、いることがわかりました。

車いすで生活している人の気もちを考え自分たちは、何ができるかを考えよう。

4の4 川口剛太

今日ほくは、車いす体験をして、いろいろなことがわかりました。ほくは、おばあちゃんが、入院して、車いすに、乗つたことがありました。しかし、下

り坂や、上がり坂は、ないので、初体験でした。上るとき、ハブをおして上つたり、下るとき、力を入れて、前に駆けおちないかなあ、いろいろなこと、勉強になりました。車いすをたたく時や、広げることも初めてで、たたむ時、指をはさんでしまいました。このことをもつと、おばあちゃんのおみまいの時も、車いすのいろいろなしくみをおしてあげたいです。たとえば、上り坂は、ハブをおして上るとき、下るときは、力を入れて、しんちよつに走らせるとか、ほくがしつぱいした、たたむ時、指をはさまないよつにするとか、いっぱいあります。こるひこそんめたいな人にもし出会つたら、かり脚してあげたりしたいです。

学習から考えたこと

車いすで、生活する人は、どこでもたいいんと言つことがよくわかつた。車いすのしくみがよくわかつた。

